



SMART MEDIA COMPANY

2025年2月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社エディア
証券コード：3935
2025年1月14日



企業コンセプト

SMART MEDIA COMPANY

人々の生活に笑顔をもたらすサービスを創造し続けます。

決算概要	(百万円)	2024年2月期 3Q累計	2025年2月期 3Q累計	対前年同期比 増減率
	連結売上高		2,387	2,530
連結営業損益		80	167	+86 +108.1%

主力のオンラインくじサービス、電子書籍等の売上高が増加し、対前年同期比で増収
売上構成の変化により高利益率の売上高が増加、利益率が向上し、対前年同期比で大
幅増益

事業概要	IP事業	前期に引き続き、オンラインくじサービス 『まるくじ』『くじコレ』の売上が好調
	出版事業	電子書籍の売上が好調 ラノベ・コミックともに順調に作品数を積み 上げる

目次

 2025年2月期3Q 決算概要……………	P 4
2025年2月期3Q 各事業の概要…	P 9
2025年2月期4Q以降の取組み …	P18
参考資料 ……………	P23

2025年2月期 第3四半期連結業績ハイライト

- オンラインくじサービス、電子書籍等の売上高が増加し、対前年同期比で増収
- 売上高構成の変化により利益率が向上し対前年同期比で増益

損益区分 単位：百万円	2024年2月期 第3四半期累計	2025年2月期 第3四半期累計	対前期比 増減	対前期比 増減率
売上高	2,387	2,530	+143	+6.0%
売上原価	1,069	1,055	△14	△1.4%
売上総利益	1,317	1,475	+158	+12.0%
販売費及び 一般管理費	1,237	1,308	+71	+5.8%
営業損益	80	167	+86	+108.1%
経常損益	77	148	+70	+91.4%
親会社に帰属する 当期純利益	64	132	+67	+103.6%

連結財政状態ハイライト

- 自己資本比率健全水準維持
- 次の成長投資に向けて十分な現預金を確保

BS項目 単位：百万円	2024年2月 期末	2025年2月期 第3四半期	増減	増減要因等
現金預金	1,415	1,639	+224	利益計上による増加
流動資産	2,227	2,488	+260	
固定資産	173	152	△21	

流動負債	875	1,043	+167	
固定負債	383	354	△29	
純資産	1,142	1,243	+101	利益計上による増加
総資産/ 負債純資産	2,401	2,640	+239	

流動比率	254%	239%	△16%	
自己資本比率	47%	47%	△0%	

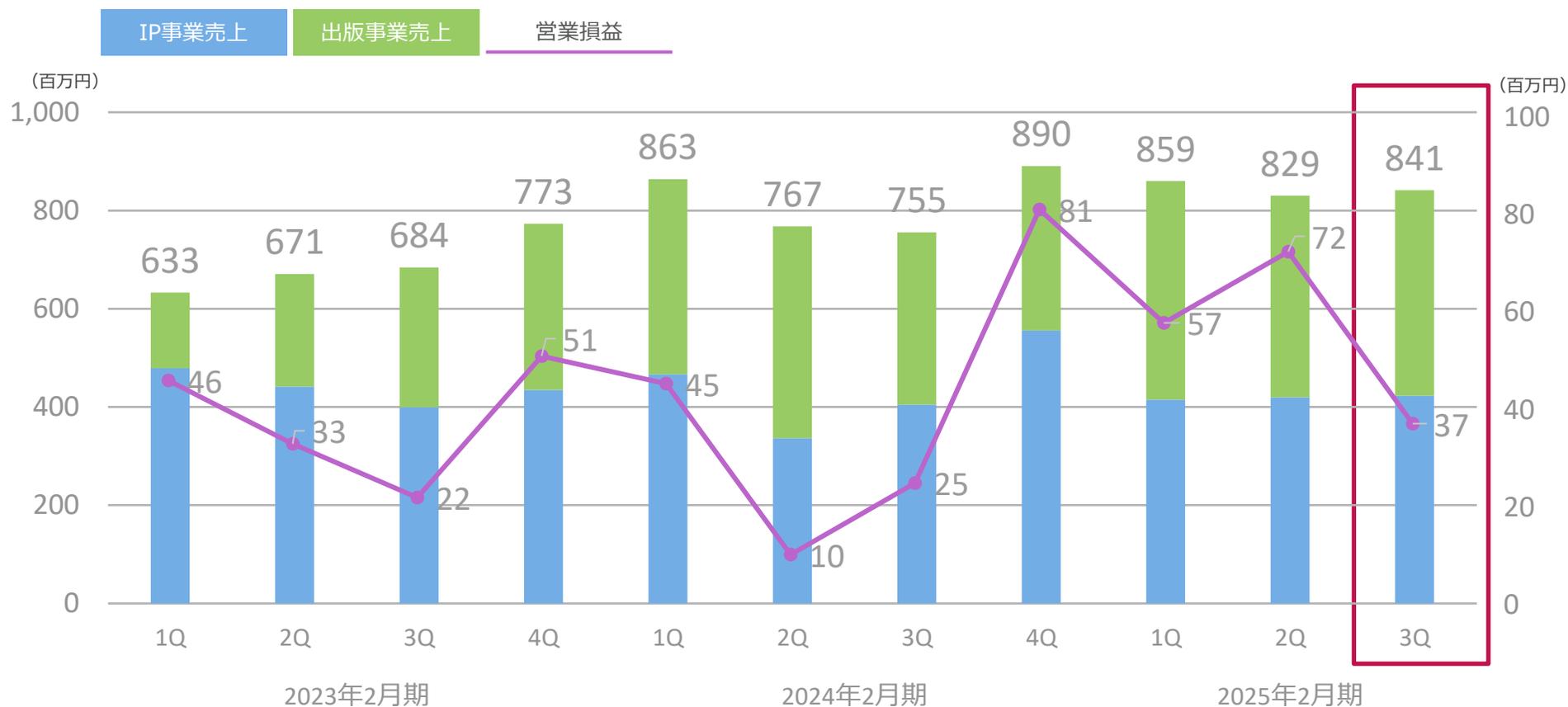
事業別ハイライト

■ 成長戦略及び具体的な戦略に基づき迅速な意思決定を実施し、スピード感あるグループ経営を推進

事業	サービス	2025年3Q実績	2025年4Q以降の展開
IP事業	ゲームサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ Nintendo Switch™用ゲーム『天使の詩 COLLECTION』発売 ■ Nintendo Switch™用乙女ゲーム『花笑む彼と & bloom』ダウンロードコンテンツ『Flower Halloween Night!』発売 	<ul style="list-style-type: none"> ■ レトロゲームタイトル復刻PJ進行 ■ 新作女性向けゲームタイトル制作進行
	ライフエンターテインメントサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 数多のアニメファンを魅了し続けている「櫻井孝宏」さんキャラチェンジセットが『MAPLUSキャラdeナビ』で提供開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「MAPLUSキャラdeナビ」人気声優のキャラチェンジセットリリース予定
	音楽レーベルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドラマCDシリーズ『DIG-ROCK』『ラヴァーズループ』続編発売 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『DIG-ROCK』シリーズ他ドラマCDの続編をリリース予定
	グッズサービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『くじコレ・まるくじ』にてTVアニメ『呪術廻戦』や『東京リベンジャーズ』他オリジナルグッズが当たるくじを販売 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人気IPのくじ・グッズを販売 ■ グッズ販売サービスの国内外販路拡大
	IPライセンスアウト	<ul style="list-style-type: none"> ■ レトロゲームタイトルを海外へライセンスアウト 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外へのライセンスアウト案件継続中
出版事業	ライトノベル・コミック 電子書籍他	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライトノベルは9月～11月で27作品を刊行 ■ コミックは9月～11月で36作品を刊行 ■ 一三書房の創立記念日12月3日に合わせ、『一二三の日 大感謝フェスタ』を各電子書籍配信サイトにて開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人気ライトノベルの続巻やコミック版を発売

連結売上高及び連結営業損益の四半期推移

- IP事業は引き続きオンラインくじサービスが好調で、QonQで増収
- 出版事業は紙書籍が好調で、QonQで増収



目次

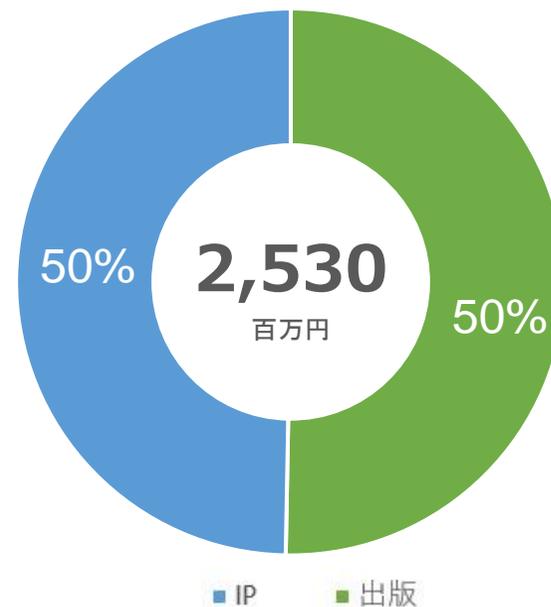
2025年2月期3Q 決算概要……………	P 4
 2025年2月期3Q 各事業の概要…	P 9
2025年2月期4Q以降の取組み …	P18
参考資料 ……………	P23

エディアグループ 事業ポートフォリオ

■ IP・出版2つの事業を軸に、総合エンターテインメントを提供

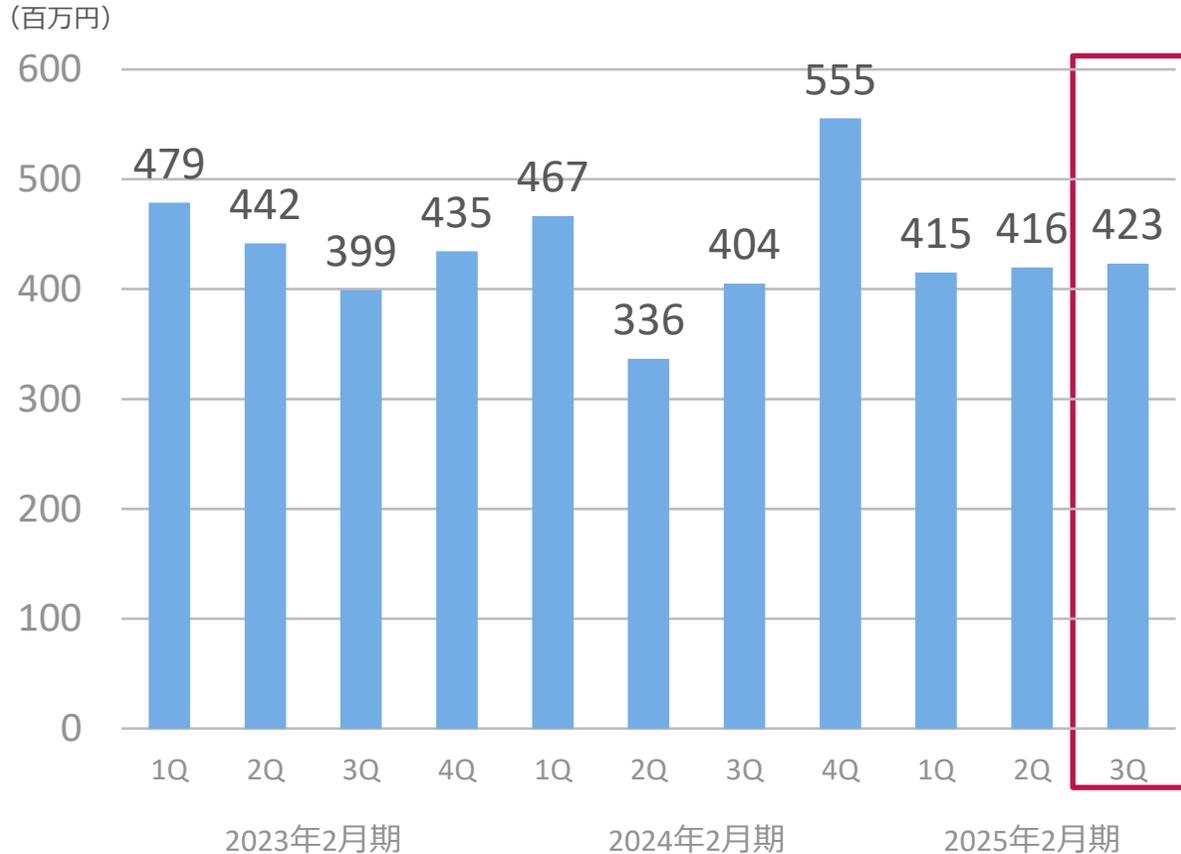
IP事業	<ul style="list-style-type: none">■ ゲームサービス運営■ ライフエンターテインメントサービス運営■ 音楽・ドラマCD、グッズ・イラスト集の企画、編集、販売■ 自社の持つ知的財産(作品)の国内外向けライセンスアウト・アニメ化■ アプリ・ゲーム・システム開発受託■ イベント・音楽制作受託等
出版事業	<ul style="list-style-type: none">■ ライトノベル・コミック・画集の企画、編集、出版■ 電子書籍・電子コミックの販売

2025年2月期 第3四半期
事業別売上高構成比



IP事業 3Qトピックス

■ IP事業売上高及び四半期推移



オンラインくじサービスが引き続き好調

- オンラインくじサービスは人気IPを継続的に提供することにより安定的に高い売上を計上
- レトロゲーム販売も堅調

ゲーム

■ Nintendo Switch 用ソフト発売



『花笑む彼と & bloom』ダウンロードコンテンツ「Flower Halloween Night！」を発売

本作は、『花笑む彼と & bloom』本編後の様子を描いたショートストーリー。全編フルボイス+わいあつと氏描きおろしのイベントグラフィックでお届け！

原作の『花笑む彼と』シリーズは、2022年にティームエンタテインメントより発売された、全4巻のシチュエーションドラマCDタイトルであり、ドラマCD発売後も、表参道で60年以上続く老舗のフラワー&プランツショップ「HARADA FLORIST」とのコラボレーションを行うなど、幅広い女性から支持を受けている作品です。



『アーネスト・エバンスCOLLECTION（仮）』クラウドファンディングを実施

『アーネスト・エバンス』シリーズは、ウルフ・チームが開発し日本テレネットが発売した『エル・ヴィエント』『アーネスト・エバンス』『アネット再び』の三部作。クトゥルフ神話をモチーフに、1920年代のアメリカを主な舞台とした、風の巫女アネット・メイヤーと冒険家アーネスト・エバンスが主人公のアクションゲームで、日本テレネットの代表的なシリーズの一つです。

今回、多くのお客様から復刻のご要望をいただきました本シリーズを、『アーネスト・エバンスCOLLECTION（仮）』としてNintendo Switch™やPlayStation®4、PlayStation®5をはじめとした現行機向けに復刻します。発売当時の雰囲気や手触りをそのまま再現しつつ、当時のファンの方々のみならず、現代のゲームファンの皆様にも幅広く楽しんでいただけるような要素も追加予定です。

ドラマCD作品 (MintLip)

■ 「ラヴァーズループ」 新作シチュエーションCD 『ラヴァーズループ -輪- 不香』 発売



輪廻転生を繰り返す魂の存在が認められた世界。
階級社会や激しい争いで、時代は常に揺れ動いていた。

陸軍将校の任に就いている不香(ふきょう)は数々の女性と浮き名を流す傍ら、上層部からの信頼も厚い世渡り上手。

とある日、見合いの席で顔を合わせたのは一人の令嬢。互いに『前世がない』二人は、利害の一致から偽りの婚約者となるが――

めぐる輪廻の中で、惹かれ合う男女の恋の行く末は……？

■ 「DIG-ROCK」 新作ドラマCD 『DIG-ROCK-BREAK TIME 3rd Season-Type:IC』 発売



ツグミの姉・ふうかから結婚の報せ！
Impish Crowの四人は、ふうかにウェディングソングを制作したいと持ちかける。

ぜひ二次会で披露してほしいと喜ぶふうか。
喉の手術を終えて以来、人前で初めて歌うことになったツグミ。
初恋の相手に、どんな歌を贈ればいいのか迷うトキ。
久しぶりに帰る故郷、待っている家族。

嬉しい気持ちはぜったいに本当。でも、ほんのちょっぴり複雑なこの気持ち――どうしたらいい？

『おれ、大丈夫かな！？』ドタバタ、ハッピーな旅的一幕をお届けします！

オンラインくじサービス、グッズ

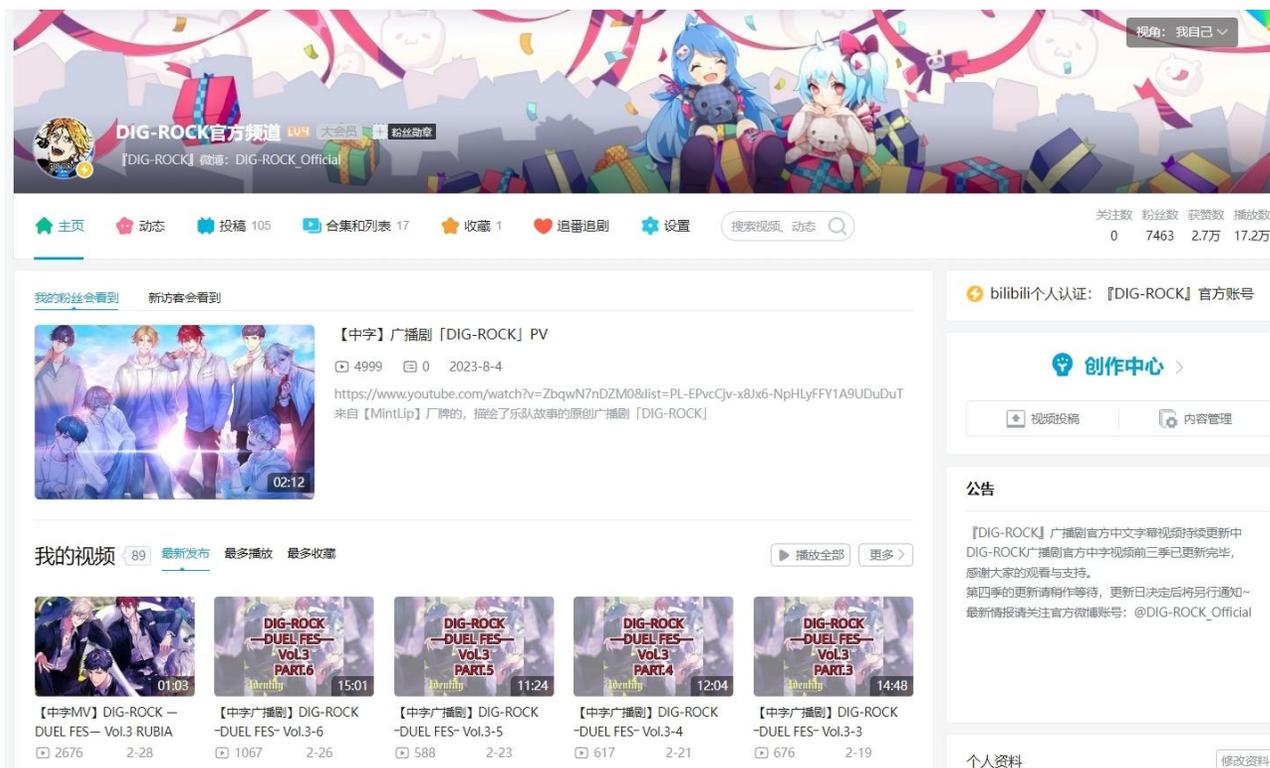
- 『くじコレ・まるくじ』の人気IPとのコラボによりグッズ販売好調



- 『くじコレ』及び『まるくじ』はインターネット上で購入可能なハズレなしの抽選クジサービス
- 地域や時間を選ばず国内全てのファンの方が購入可能

中国子会社 上海艺钻文化创意有限公司

- 中国国内への IP 及び出版コンテンツ配信及びグッズ販売の強化を目的として設立
- オリジナルグッズのEC展開からスタート



現在

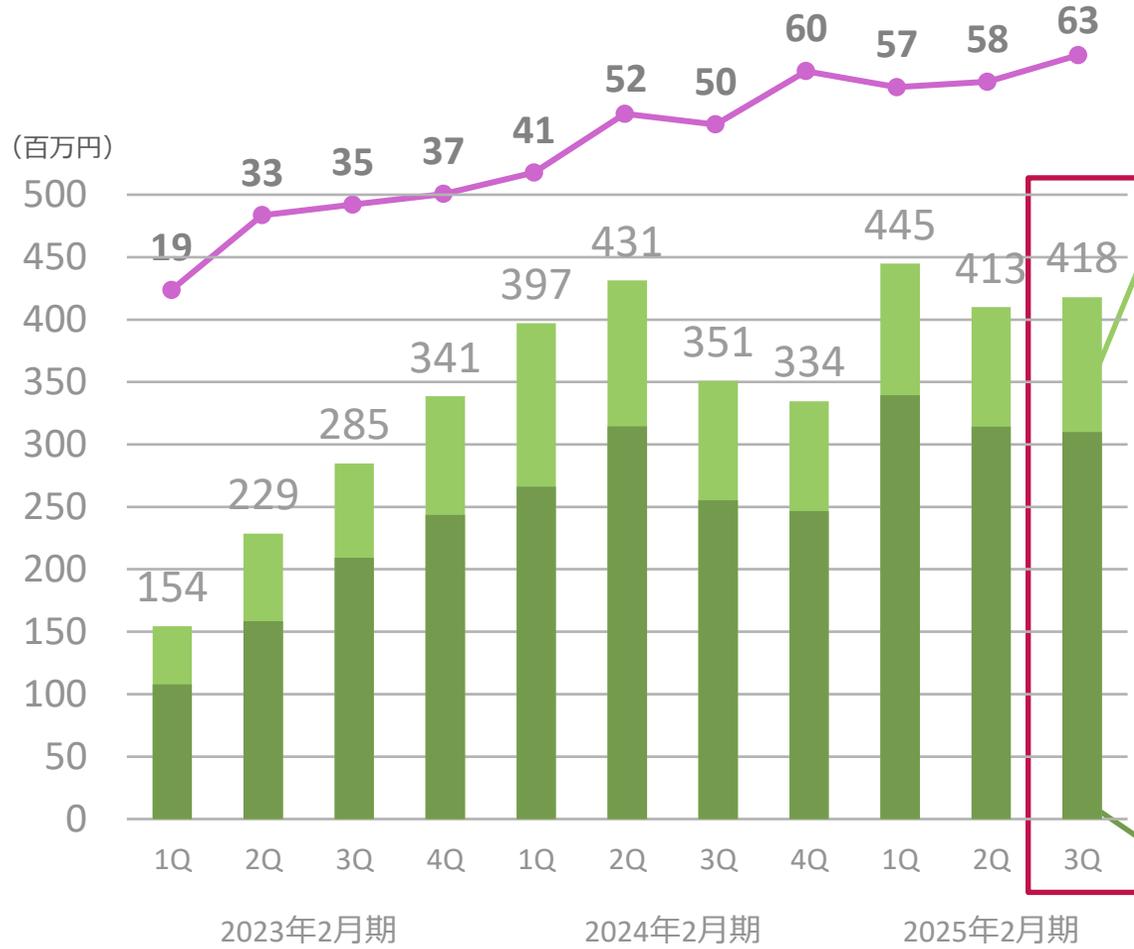
- Bilibili・Weibo 内の公式アカウントにて「DIG-ROCK」のプロモーション活動を展開中

今後の予定

- オリジナルグッズのEC展開
- ドラマCD・音楽CDの中国PF配信
- オリジナルコミック・ラノベの中国PF販売

出版事業 3Qトピックス

■ 出版事業売上高・作品数及び四半期推移



ラノベ・コミック作品数

紙書籍売上

紙書籍・電子書籍共に堅調に推移

- ラノベ・コミックともに順調に作品数を積み上げ
- 電子書籍はQonQで減少も、高い売上を維持
- 人気ラノベ作品「オルクセン王国史」の続編、コミック版を発売

電子書籍売上

ライトノベル・コミック

- ライトノベルは9月～11月で27作品を刊行、コミックは9月～11月で36作品を刊行
- 人気ライトノベルの続巻やコミック版を発売



オルクセン王国史～野蛮なオークの国は、如何にして平和なエルフの国を焼き払うに至ったか～ 3 (ライトノベル)

魔種族統一国家オルクセンの王グスタフは、オークらしからぬ穏やかで理知的な名君と名高い。それは彼が特殊な事情を抱えてこの世界に生まれてきたためであった。

グスタフ王は故郷を追われ臣民となったダークエルフの美女ディネルースと心を通わせ、ついにエルフたちの国エルフィンドに宣戦布告する。奇襲ともいえる神速の開戦により、戦いはオルクセン軍の圧倒的有利で進むかに思われたが……。

重厚にして胸アツ！ 空前絶後の異世界軍事ファンタジー、待望の第3弾！



転生貴族の異世界冒険録～カインのやりすぎギルド日記～7 (コミック)

転生貴族カインの自重知らずなギルド生活第7弾！

夜の王都に出没し、住人たちを脅かすという奇妙なカカシの捕獲依頼についてギルドで話を聞かされていたカインだったが、稽古帰りのテレスが襲われたことを知り、ミリィやニーナとともに事件解決へと乗り出すことに――。

目次

2025年2月期2Q 決算概要……………	P 4
2025年2月期2Q 各事業の概要…	P 9
 2025年2月期3Q以降の取組み …	P18
参考資料 ……………	P23

IP事業 ■ 新作ゲームやドラマCD、オンラインくじを販売

ゲームサービス

4Q1タイトル発売

12月発売



音楽レーベルサービス

4Q5タイトル発売予定

12月発売



グッズサービス

4Q32タイトル発売予定

12月発売



1月発売



出版事業 ■ 人気ライトノベルの続巻やコミック版を発売

ライトノベル

4 Q39タイトル発売予定

12月発売



1月発売



コミック

4 Q35タイトル発売予定

12月発売



1月発売



2025年2月期 業績予想の修正及び配当予想を修正

- 売上高につきましては、おおむね想定どおりの着地を見込んでおりますが、売上の構成比に変動があり、利益率の高いグッズ関連の売上が増え、一方で利益率の低い受託関連の売上が減少したため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

損益区分等 単位：百万円 下段は構成比	修正前 通期業績予想 (2025年2月期)	修正後 通期業績予想 (2025年2月期)	増減/増減率
売上高	3,500 (100.0%)	3,500 (100.0%)	0 0.0%
営業損益	200 (5.7%)	250 (7.1%)	+50 +25.0%
経常損益	175 (5.0%)	228 (6.5%)	+53 +30.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	165 (4.7%)	208 (5.9%)	+43 +26.1%
1株当たり 当期純利益	26円93銭	33円94銭	
配当予想	5円	7円	

2025年2月期 業績予想（前期業績との比較）

- オンラインくじサービスの事業拡大により売上高・利益が拡大
- 電子コミック事業の作品数拡大により売上高・利益が拡大
- 3Q売上高進捗 72.3%、営業損益進捗 64.9%

損益区分等 単位：百万円 下段は構成比	前期通期業績 (2024年2月期)	修正後 通期業績予想 (2025年2月期)	増減/増減率
売上高	3,277 (100.0%)	3,500 (100.0%)	+223 +6.8%
営業損益	161 (4.9%)	250 (7.1%)	+89 +55.3%
経常損益	158 (4.8%)	228 (6.5%)	+70 +44.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	150 (4.6%)	208 (5.9%)	+58 +38.7%
1株当たり 当期純利益	24円49銭	33円94銭	
配当予想	5円	7円	

※中国子会社は年間を通じての業績予想が不透明であること、当面は非連結子会社とすることから、本業績予想において反映しておりません。

目次

2025年2月期2Q 決算概要…………… P 4

2025年2月期2Q 各事業の概要… P 9

2025年2月期3Q以降の取組み … P18

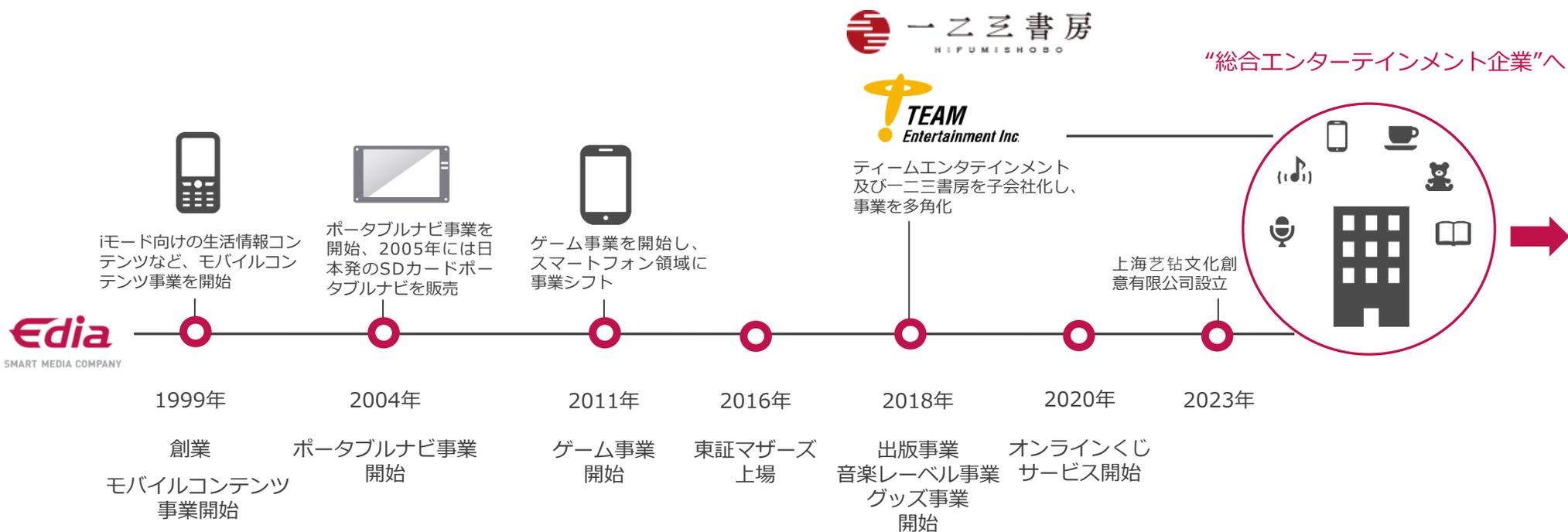
 **参考資料** …………… **P23**

会社概要

会社名	株式会社エディア
代表者	代表取締役社長 賀島 義成
所在地	東京都千代田区一ツ橋2-4-3 光文恒産ビル
設立	1999年4月
上場	2016年4月 東証マザーズ上場（証券コード：3935） 2022年4月 東証グロース市場へ移行 2024年10月 東証スタンダード市場へ市場変更
事業内容	IP事業 出版事業
グループ会社	株式会社ティームエンタテインメント （音楽レーベル事業・グッズ事業） 株式会社一三書房 （出版事業） 上海艺钻文化创意有限公司 （海外IP事業）

沿革

- 時代や市場の変遷にあわせて事業領域を拡大
- 2018年よりティームエンターテインメント、一三三書房が加わりグループ経営へ移行
- 2023年 中国子会社 上海芝钻文化创意有限公司 設立



エディアグループ成長戦略基本方針

中長期経営 ビジョン	総合エンターテインメント企業としての躍進を目指す
中期経営目標	ゲーム、コミック、グッズを中心にクロスメディア展開を加速させ、 事業の多角化と収益力向上を狙う

自社IPのグローバル
展開加速

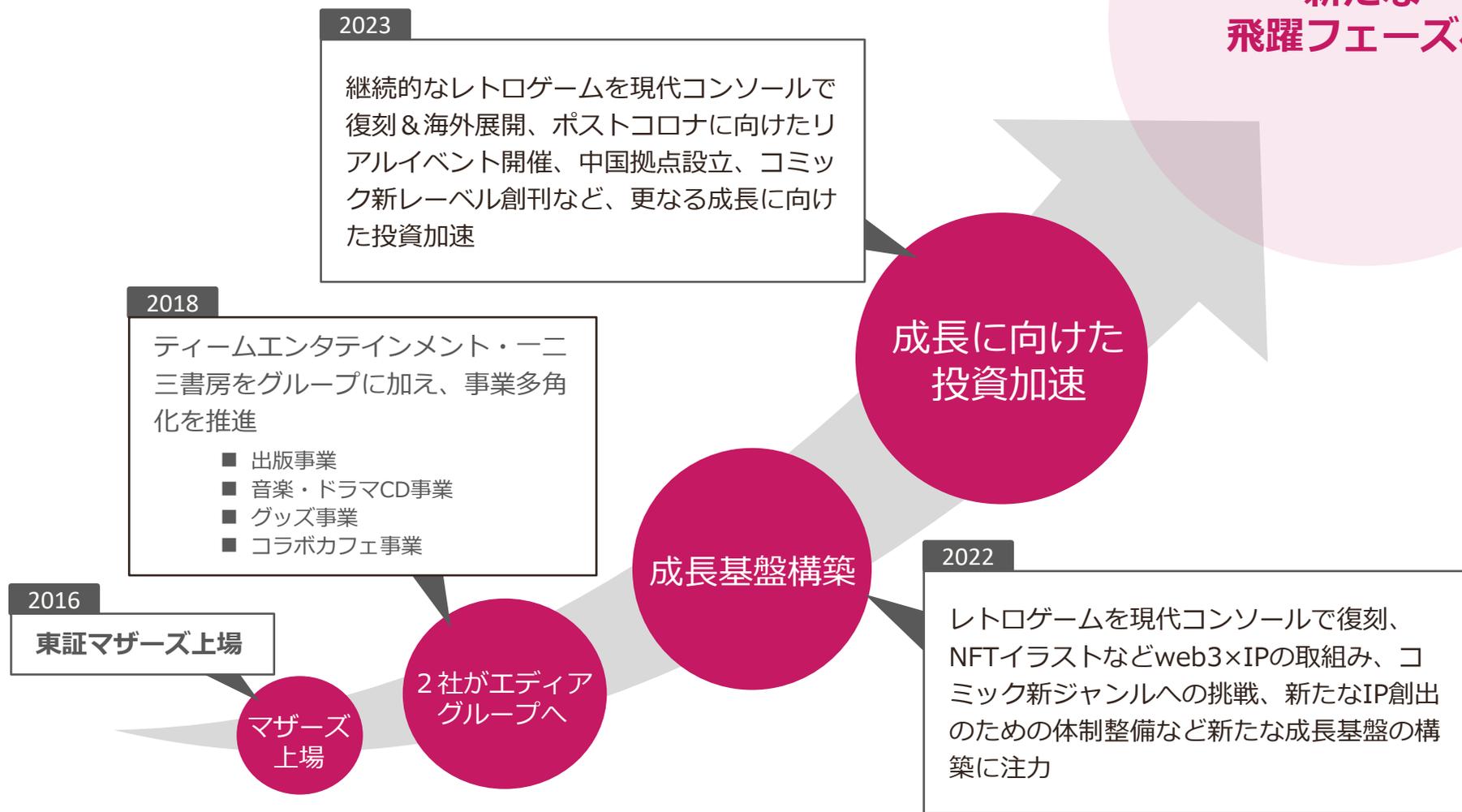
出版、グッズの展開数増加により
次なる成長フェーズへ

女性向けIP強化

事業環境変化に応じた
弾力的グループ運営

注力事業の飛躍フェーズ、2事業の深耕・拡大へ

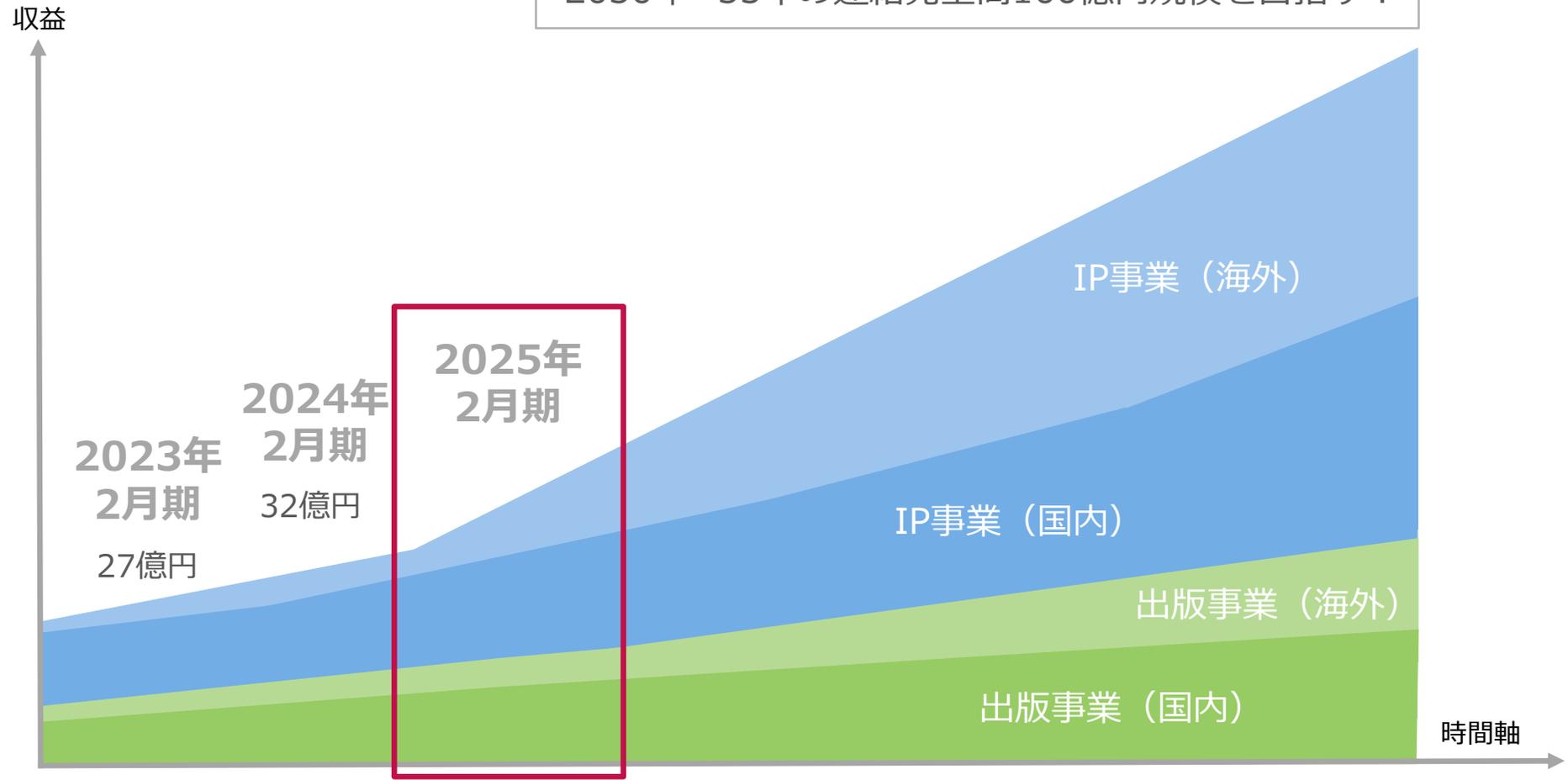
2025年2月期、エディアグループは新たな成長フェーズ突入



2事業の成長軸

- 出版事業で安定成長確保、IP事業で大きく成長
- 経営資源投資の選択と集中もこの成長軸に合わせて実施

2030年~33年の連結売上高100億円規模を目指す！



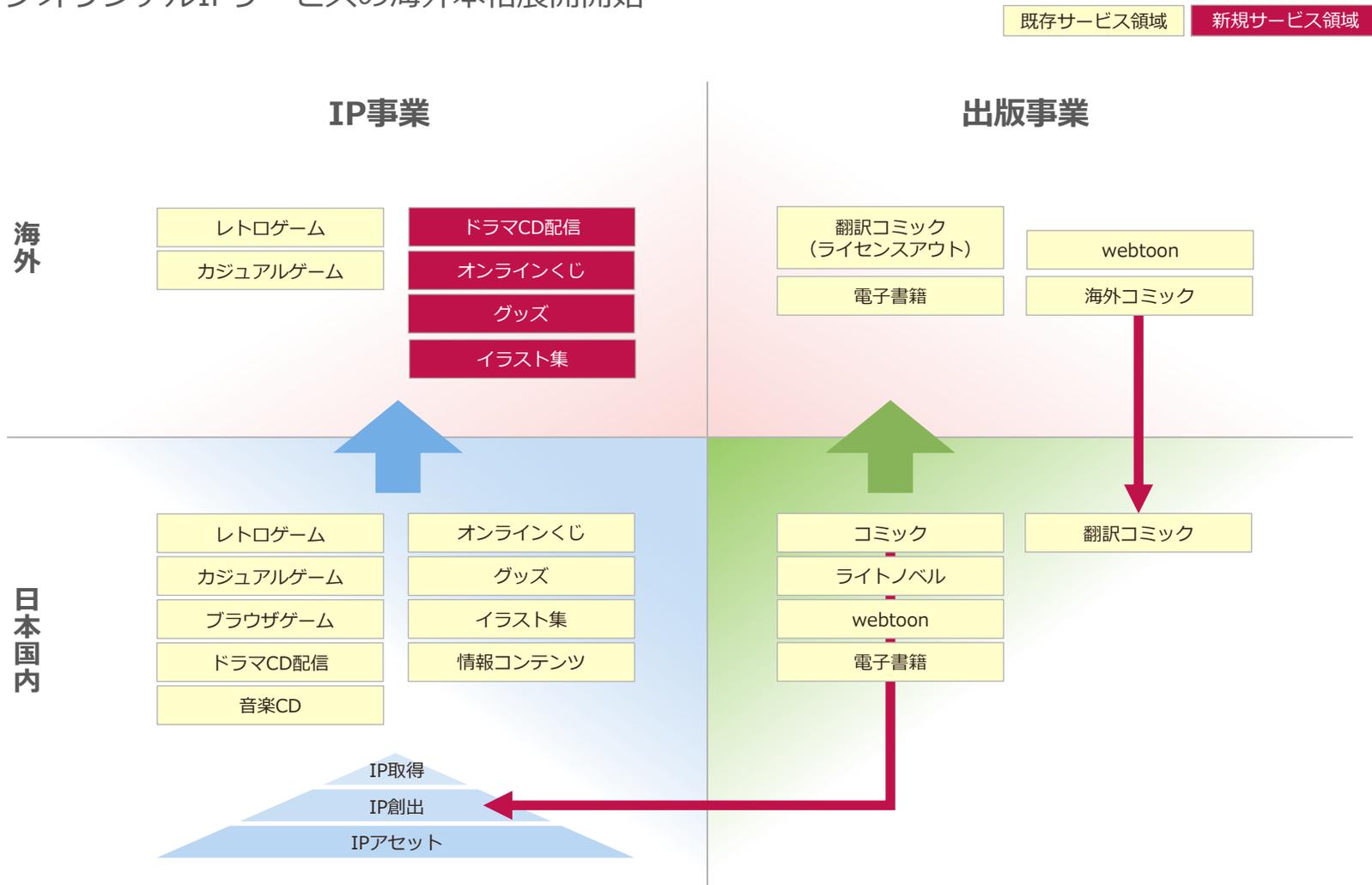
エディアグループ 2025年2月期成長戦略

■ 成長戦略及び具体的な戦略に基づき迅速な意思決定を実施し、スピード感あるグループ経営を推進

	事業別成長戦略	具体的な戦略
IP事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ IPの創出・取得を加速 ■ 日本・海外マーケットに向けて、クロスメディア展開 ■ Web3×IPによる新サービス ■ エディアグループのコアコンピタンスとDXを掛け合わせたBtoBビジネスサービス拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ IP制作及び取得加速により保有IP数拡大、各IPの育成 ■ 「保有人気IP数」×「顧客との接点」、ライセンスアウト展開等にて収益拡大 ■ グッズ販売サービス国内外販路拡大 ■ レトロゲームの活用、国内外向け販売加速 ■ 営業体制活性化により収益性の高い大型案件受託獲得 ■ 受託案件積み上げ及び新技術活用により新サービス・IP生成基盤創出
出版事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市場拡大継続が見込まれる電子コミックへ集中投資 ■ ラノベ・コミック作品制作体制強化、電子コミック事業拡大促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ライトノベル・コミック作品ラインナップ増加 ■ 海外作品の仕入、国内電子コミック化拡大 ■ 電子書籍の取扱種・配信先の順次拡大 ■ 新レーベル立ち上げ・新ジャンル開拓 ■ 海外ライセンスアウト強化 ■ 効果的な販促施策により売上拡大 ■ アニメ化、グッズ化により書籍拡販相乗効果追求

各事業の世界展開概略

■ グループオリジナルIPサービスの海外本格展開開始



本資料は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらおよび戦略に関する記述等は、本資料作成時点における当社の予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらと異なる結果を招き得る不確実性がありますことを、予めご了承ください。

それらリスクや不確実性には、当社の関係する業界ならびに市場の状況、国内および海外の一般的な経済動向および市場環境、その他の要因が含まれます。

また、本資料に記載している情報に関して、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。